

“みち”と“まち”

歩けば歴史が見えてくる

歴史探訪夢紀行

ひろしま歴史街道トリップ

歴史探訪パネル展

広島八区の歴史街道へようこそ

無料開催

期間 平成30年(2018)4月8日(日)～22日(日) 休館:16日(月)

9:30～22:00 8日は12時から/22日は18時まで

会場 合人社ウエンディひとまちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ):南棟1階ロビー
広島市中区袋町 6-36 TEL 082-545-3911

内容 ひろしま八区ぐるっと散策「みち」めぐり:歴史浪漫ツアー
「ひろしま」「廣(広)島」「ヒロシマ」の歴史ロマンを散策地図で巡ります

歴史街道を歩こう

古代山陽道(影面の道)
出雲石見街道(雲石路)
西国街道(近世山陽道)
三田往来(三篠川舟運)
都志見往来(岡岷山絵巻)
広島城下町(街並と堀割)

八区の郷土史を満喫

参加の要項

募集人数:60名
参加費:500円
申込:4月5日(木)
までに下記宛先へ

参加者への特典

- ①散策会に招待
- ②散策地図配布
- ③パネル展見学

終了後に交流会

歴史街道フォーラム

ひろしまの文化はみちの歴史から

有料開催

日時 平成30年(2018)4月19日(木)

10:00～12:00 (受付開始 9:30)

会場 合人社ウエンディひとまちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ):北棟6階マルチメディアスタジオ
広島市中区袋町 6-36 TEL 082-545-3911

内容 古を歩く「ひろしま歴史街道トリップ」への誘い

※ひろしま歴史街道トリップ実行委員会・座長

基調講演:佐々木卓也氏※・事例報告(広島市・市民活動団体等)・質疑応答

付録 広島城下町散策会 広島城下と西国街道:里程元標～胡子神社

集合 13:30/解散 16:30 広島市まちづくり市民交流プラザ:南棟1階ロビー

駐車場はありません
公共交通機関で来場

■申込 (公財)広島市文化財団まちづくり市民交流プラザ(共催) ※応募者多数の場合は抽選します。

・往復はがき・FAX・メールで、催し物名「歴史街道フォーラム」を明記し、住所、氏名(ふりがな)、電話番号(FAXにてお申し込みの場合はFAX番号も)を記入のうえ、「(公財)広島市文化財団まちづくり市民交流プラザ」宛へお申し込みください。

・申込先は 〒730-0036 広島市中区袋町 6-36 / FAX 082-545-3838 / メール m-plaza@cf.city.hiroshima.jp です。

4月5日(木)締切(必着)です。お申し込みの際にお寄せいただいた個人情報は、事業運営の目的以外に使用しません。

■主催 ひろしま歴史街道散策くらぶA ■協力 ひろしま歴史街道トリップ実行委員会B

A 〒739-1732 広島市安佐北区落合南四丁目 29-13 頭取:中野 省三 TEL/FAX 082-842-7333[自宅]

B 〒730-0036 広島市中区袋町 6-36 合人社ウエンディひとまちプラザ メールボックス:58

後援 広島市 広島市教育委員会 国土交通省中国地方整備局 中国新聞社

本事業は、広島市コミュニティ再生課発行の散策地図「ひろしま八区ぐるっと散策「みち」めぐり」を活用した事業です。

皆様へ“ひろしま歴史街道散策くらぶ”を紹介

活動目的とは 城下町である「広島」と、それを支えた街道や、周辺の「まち」に眠る歴史や文化を学びます。これからの「まちづくり」に活かしながら、学習活動を通じて歴史を知ることの楽しみを、実際に体験しながら自己啓発を行います。「歩けば歴史が見えてくる」を目的に、「広島文化は「みち」(街道)の歴史から始まる」を、歩き聞き見る活動を行います。平成19年(2007)度に開催の「ひろしま歴史街道トリップ実行委員会」の開催した、「市民アカデミー事業」の参加者を基本に、世話人会を立ち上げました。新たなる会員を募集し同20年(2008)4月1日より、「ひろしま歴史街道散策くらぶ」が誕生したのです。定例会は通常毎月第3木曜日に、(公財)広島市文化財団：中央公民館や、市内の各公民館を会場に定例会を開催しています。午前は講演会となり、ひろしま歴史街道トリップ実行委員会・座長で、歴史地理学研究者の佐々木卓也氏を指南(指導員)に迎えて行い、昼食後は午後からの散策会となり、広島市内の五つの歴史街道と広島城下町を歩き見聞を広めています。特別定例会としては、全日程を使って長距離の散策会や、周辺地域の歴史探訪に替え、ひろしま歴史街道トリップを会員同士楽しんでいきます。私たちと一緒に活動しませんか、お待ちいたしております。

活動内容とは 平成20年(2008)年度より、毎月第3木曜日に定例会(講演会と散策会)を開催しています。定例会会場は(公財)広島市文化財団：中央公民館または市内の各公民館で講演会を、市内各歴史街道で散策会を開催しています。特別活動日は別途設定し全日程を使っての長距離の散策会や、周辺地域の歴史探訪として行っています。年度会費は一般会員共通でお一人2000円とし、毎月の定例会は参加料としてお一人500円とし、会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日とし、年度初めには総会を行っています。

古を歩く“ひろしま歴史街道トリップ”への誘い

活動目的とは 「ひろしま文化は「みち」(街道)の歴史から始まる」を体験するために、広島市八区内に所在の市民活動団体と協議しながら、各区役所や各公民館や関連施設とも連携しています。「歩けば歴史が見えてくる」の地域散策会を開催するための環境を整備し、散策用の案内書や地図類を作成し提供し、市内のボランティアガイドに対して情報提供を行うことを目的に活動しています。

活動内容とは 平成17年(2005)度開催の「ひろしま八区覧会・八区物館」実施に向けて、佐伯区はやはたがわまっぶくらぶ、西区の草津まちづくりの会、東区の二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会、安佐北区の可部カラスの会と協議し、「西国街道めぐり」のイベント開催を調整する、「ひろしま歴史街道トリップ策定検討委員会」設立の必要性などについて会談しました。同18年(2006)度に組織を拡充させるために、専門のアドバイザーや関連機関を加え、正式に「ひろしま歴史街道トリップ実行委員会」を結成しました。『ひろしま八区ぐるっと散策「みち」めぐり』の散策地図を初年度に編集し初版を発行し、平成19年(2007)度には広島市まちづくり市民交流プラザにて「市民フォーラム」を開催しました。同年度には「市民アカデミー事業」を展開し、広島市内に残る五つの歴史街道と広島城下町を巡る、講演会と散策会を関係公民館にて都合6回開催しました。この事業の参加者からの要請により、同20年(2008)度には「ひろしま歴史街道散策くらぶ」の結成に協力しました。その後は10年間にわたり毎月第3木曜日には中区の広島市中央公民館にて、定例会として午前中に講演会を午後に散策会を行いその活動を終始支援し、平成27年(2015)3月に散策地図の第4版発行があり協力しました。このように、広島城築造前の「ひろしま」、城下町から軍都への「廣(広)島」、被爆後の平和文化都市への「ヒロシマ」の歴史的事実を、五つの歴史街道や広島城下の街並をそぞろ歩き、文化的にも特筆できる郷土の誇りを皆様にお伝えしています。

①**古代山陽道(影面の道):古代～中世** 古代の京師(平城京・平安京)と西都・大宰府を結ぶ唯一の大路で、五畿七道の内では陸路と水路が存在し恒に大陸文化が行き交い、安芸国の国府所在地は安芸府中に比定され各所に駅家を置いた。 **古代山陽道**

②**出雲石見街道(雲石路):中世～近世** 古来北部地域との交易は太田川に沿う出雲大社道を基幹に、石見大森銀山に至る道筋は山間部の交易とも相俟って発展し、武田氏や熊谷氏の版図は毛利氏に至り、やがて可部宿の祖型が完成した。 **出雲石見街道**

③**西国街道(近世山陽道):近世～近代** 京都と長崎とを結ぶ西国街道は、参勤交代の往来のため整備され、広島城下町を基点に街道には宿駅が置かれ街道松が植えられ、近代の交通路の基幹として利用され、今の国道2号の祖型となった。 **西国街道**

④**三田往来(三篠川舟運):中世～近世** 広島城下町と三次城下や吉田宿を結ぶ往来は、太田川の支流の三篠川に沿い整備され、古来三田船が航行し内陸地域から物資が運ばれ、JR芸備線沿いに中世から近世の史跡が多数分布している。 **三田往来**

⑤**都志見往来(岡岷山絵巻):近世～近代** 江戸時代の名絵師の岡岷山が山県郡の名瀑を見物する旅をし、『都志見往来日記』と『都志見往来諸勝図』は特に有名で、当時の風景や史実が見事に描かれ、歴史散策の意欲を醸し出している。 **都志見往来**

⑥**広島城下町(街並と堀割):近世～近代** 毛利輝元の広島城建設に始まり福島正則の城下町整備を経て、浅野長晟以降の代々の藩政により城下町は街路や堀割に従い、侍屋敷や町人屋敷の街並は建ち並び、戦前までは賑わいを見せた。 **広島城下町**